

# 評価及び取組報告書

2024年1月17日

神田幼稚園

園長 金子 誠

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"><li>今年度も大イベントである作品展を2月10日に実施する。昨年の12月から家庭での廃材の収集を呼びかけている。 牛乳パック、布の切れ端、空き箱、プラ容器等を利用したアイデア作品を陳列していく。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>節電、節水を呼びかけている。しかし、園舎が新しくなり電気設備が一新、また節水にしても貯水タンク方式から直管形式に変わり、初年度の使用料を注視している。 今年度の省エネ状況をベースにして次年度以降一層努力していく</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>試し刷り用紙の保管箱を印刷機の横に用意して再使用を推進している。裏紙使用が常態化している。 食品ロス削減と食育に取り組み、昼食ペロリ賞の推進し、手の甲へのスタンプ押印で励ましている。</li></ul>
独自メニュー		

取り組み姿勢と期待する目標に年齢差があることから、独自メニューは発達段階（年長、年中、年少・3歳未満）に応じたものになっている。なお、「園長からの通信 NO.3」(令和5年5月30日)で保護者にも周知を図った。

#### 「年長」

- ・ 田植え、稲刈りを体験し主食となるごはんについて知ろう。

田植えから、稲刈りそして、おにぎり大会まで成り立ちを図解でまとめ理解を深めた。しかし残念ながら田植え予定日、予備日共に雨天の為中止せざるを得なかった。一方昨年とは反対に稲刈りは多くの保護者ボランティアのもと、安全に有意義に実施できた。一人6株の稲刈り体験は貴重で「ごはんのおべんとう」の毎に、どうしてこうなるんだろう、不思議がっていた。

また、作業だけでなく座学も取り入れたので理解が深まった、と思われる。





### 「年中」

- ・ じゃがいも、さつまいもの栽培を通して、食物の育ちを知ろう

予定通り植え付けと収穫が体験でき、感動を味わえた。作業前に興味深げに農家の方からの説明に聞き入っていた。今年から畑地が変わったが、土が柔らかく例年以上に楽しめた様子であった。

おみやげ用の持ち帰りがあり、充実していた。



### 「年少・3歳未満」

- ・ 遊具やおもちゃを大切にしよう

例年のごとくルールを守れなかったり、おもちゃを投げてしまう子もいたが、根気強く、繰り返し指導した結果、改善傾向がはっきり見えるようになってきた。

- ・ ペロリ賞をめざし、食品ロスをなくそう。

昼食を完食した際には、ご褒美マークのスタンプを得意げに見せている様子がある。励みとなって効果が大きいことを実感している。



